モリト株式会社

東証プライム 証券コード 9837

2022 年 11 月期 第 2 四半期決算概要

2022 年 7 月

MORITO

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1 コーポレートブランドの刷新

2 会社概要

3 中長期方針

4 2022 年 11 月期 2Q 業績

5 2022 年 11 月期 2Q 事業の概況

6 事業のトピックス

7 株主還元策

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

1

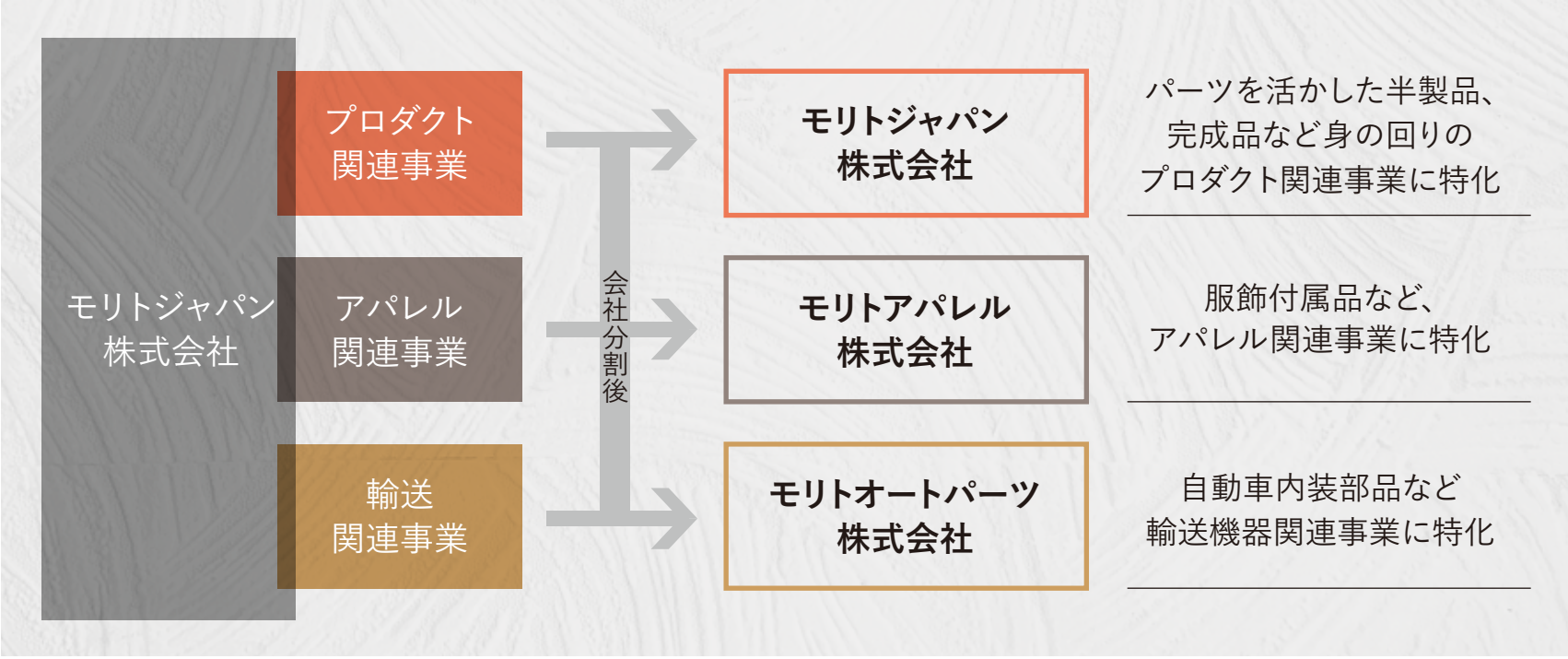
コーポレートブランドの刷新

© 2022 MORITO CO.,LTD.

1

コーポレートブランドの刷新

（背景）
モリトグループ最大の事業会社であるモリトジャパンの会社分割。
→あらゆる環境の変化に対応、各市場のニーズに沿った会社運営を実施。



コーポレートブランドの刷新 ー タグライン新設

あたりまえに、新しさ。

一見あたりまえのように思われているモリトのパーツは、
常に使いやすさを追求し、私たちはその目的にあった
新しい商品の開発・提案をあたりまえに続けているということ、
「あたりまえに『新しさ』をプラスする」という企業としての姿勢も表現。

© 2022 MORITO CO.,LTD.

コーポレートブランドの刷新 ー コーポレートロゴリニューアル

MORITO → MORITO

新しさに触れた時の“動悸”を M に表現。
様々な業界を支えるバイプレイヤーを意識し、
書体の下をカット して少し隠れたようなイメージにするとともに、
太陽が昇るような力強さを表現。

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

2

会社概要

モリトグループの価値観

創業理念

積極・堅実

経営理念

パーツでつなぐ、あなたとつながる、未来につなげる

経営ビジョン

存在価値を創造する、
あたらしい「モリトグループ」の実現

© 2022 MORITO CO.,LTD.

会社概要

● 1908 年創業

・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
・その後、マジックテープ ® など服飾の付属品、
自動車内装部品等の販売を中心に拡大

ハトメ

ホック

マジックテープ ®

※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に
取り付ける環状の金具

● 製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを
一貫して手掛ける専門商社
・世界に 14 拠点展開

● 3 つの事業を展開

・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
・自社生産 30%、調達 70%ほどの構成

© 2022 MORITO CO.,LTD.

事業別詳細

アパレル関連事業

<取扱い商品例>

ホック

マジックテープ®

ボタン

テープ

ハトメ・靴紐

自社ブランド

<活用例>

カジュアルウェア・シューズ
スポーツウェア・シューズ
ワーキングウェア・シューズ
メディカルウェア、ベビーウェア
フォーマルウェア・シューズ、バッグ

プロダクト関連事業

<取扱い商品例>

マジックテープ®

樹脂パーツ

インソール

ストラップ

スケートボード・スノーボード・サーフィン

自社ブランド

<活用例>

インソール・シューケア商品
カメラ・PC ケース等映像機器関連商品、
サポーター、安全関連商品、教具・文具
スケートボード・サーフィン等
アクティブスポーツ関連商品

輸送関連事業

<取扱い商品例>

ホック

マジックテープ®

ネット

エンブレム

トランク
フロアボード

ドアアーム
レスト

<活用例>

自動車内装部品
鉄道・新幹線内装部品
航空機内装部品

© 2022 MORITO CO.,LTD.

モリトの強み

● 3つの事業の柱で安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、オイルショックやリーマンショック、
新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあっても、
赤字にならない安定した業績を維持。

● 多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

● 世界各地に広がるグローバルネットワーク

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、
あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

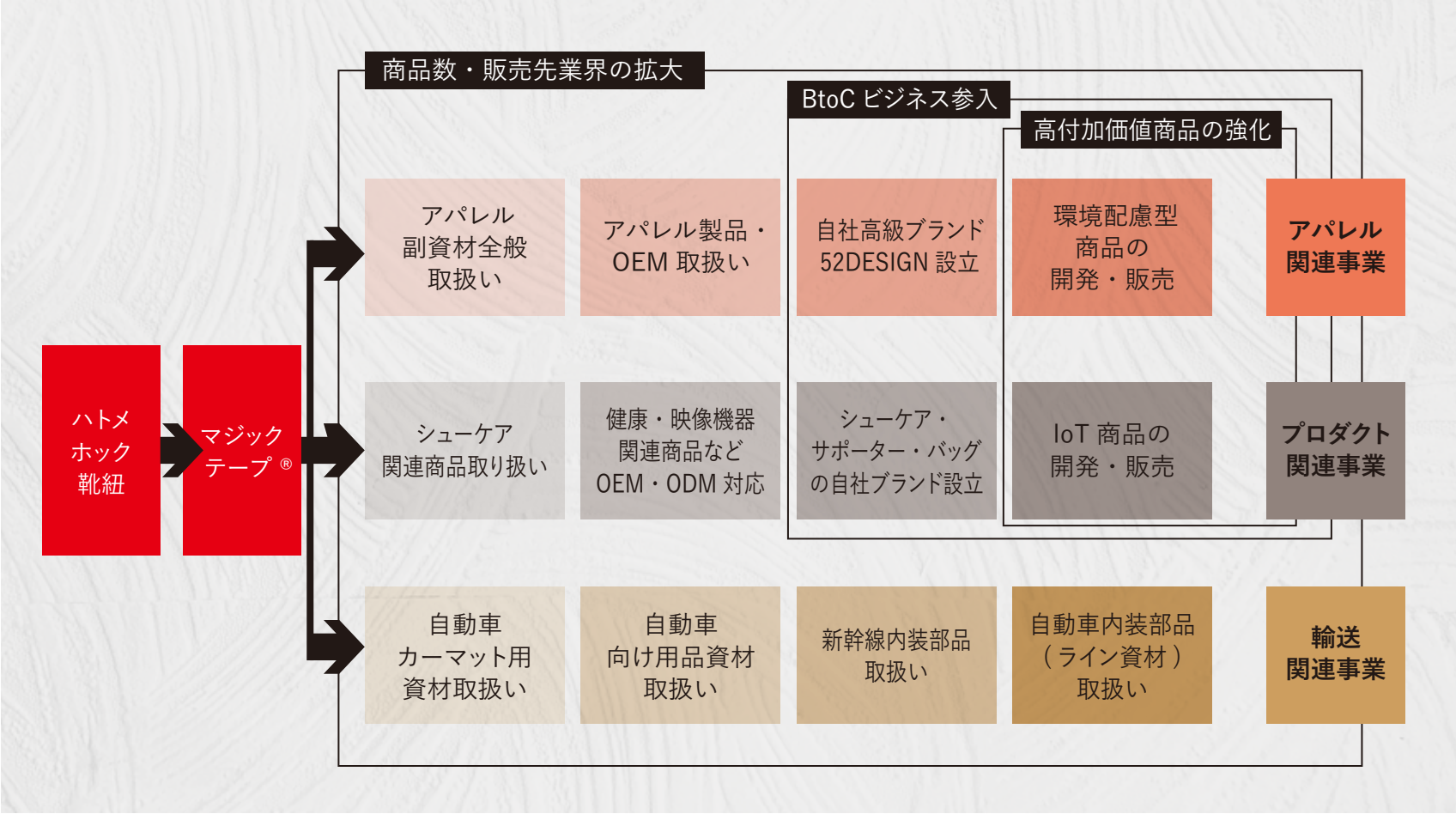
3

中長期方針

© 2022 MORITO CO.,LTD.

3

グローバルニッチトップを目指した過去の取り組み



3

グローバルニッチトップを目指した過去の取り組み

グローバルネットワーク構築	販売・調達	香港、アメリカ、オランダ、台湾、中国（上海）、タイ、ミャンマー、メキシコ
	製　造	中国（深セン）、アメリカ（ジョー ジア州）、ベトナム
	M&A	スコーヴィル（アメリカ）、マテッ クス（日本）、マニューバーライン（日本）

収益力強化

- グローバル品質保証体制の構築
- 自社物流拠点の設立
- 持株会社体制への移行
- 事業会社モリトジャパンの分割

管理体制の強化

- ダイバーシティ・働き方改革
- キャリア採用等人事戦略

© 2022 MORITO CO.,LTD.

中長期方針　モリトが目指す姿

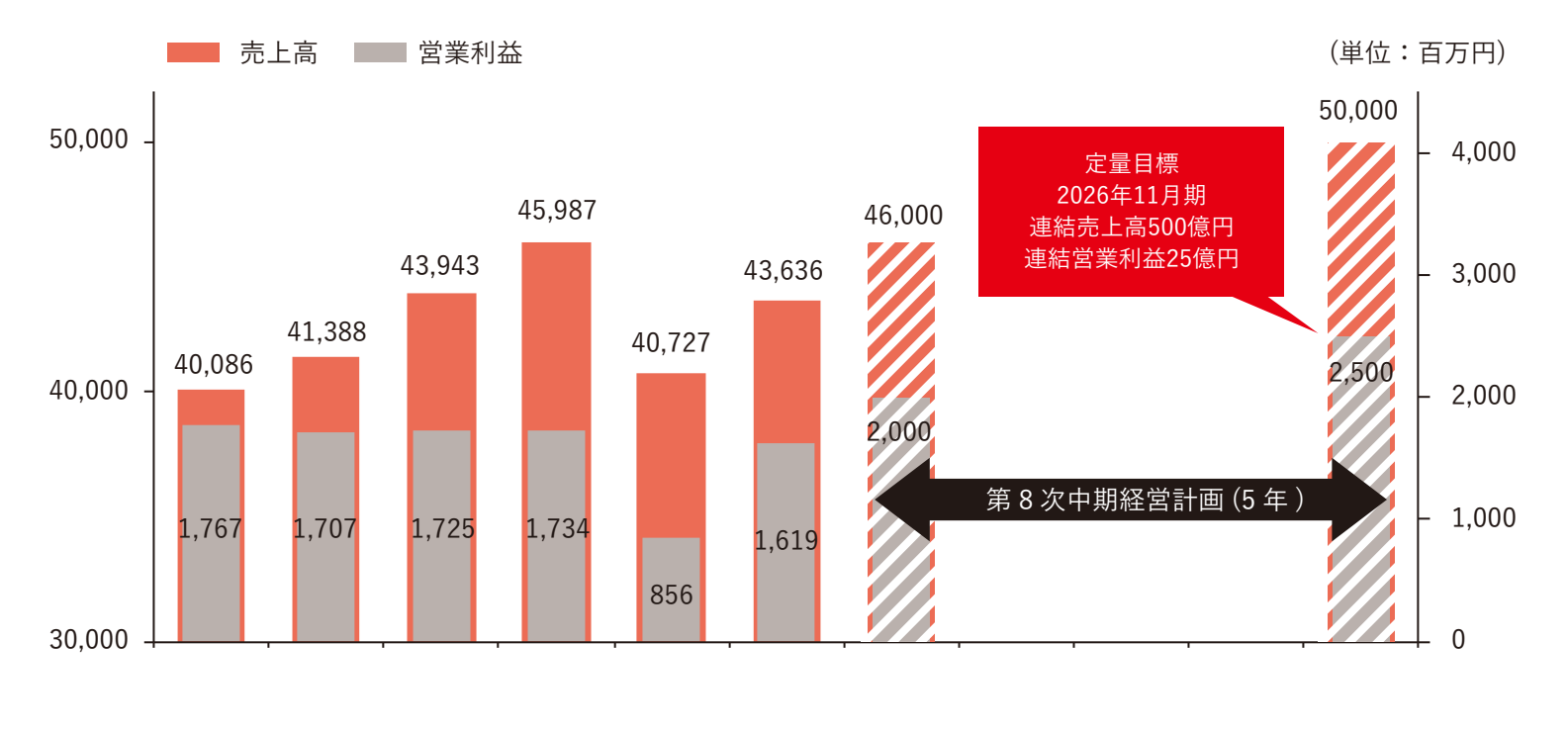
小さなパーツで世界を変え続け、グローバルニッチトップ企業を目指す

第 8 次 中期経営計画	事業戦略	• BtoC 市場への参入・強化 • 各市場のグローバルシェア No.1 へ • 経営・製造・調達の現地化、新規拠点設立 • 製造会社への設備投資、生産効率化 • M&A の実施 • 高付加価値商品（安心・安全・健康・環境配慮の取り組み）
	コーポレート戦略	• IT 技術を活用した製造・業務・営業活動支援 • 為替対策を含む、グループ会社の資金マネジメント • SDGs を意識した企業経営
2020 年～ 2021 年	コロナ禍における 事業体制構築	• 経費の見直し • 収益性の強化 • 不採算事業の見直し

© 2022 MORITO CO.,LTD.

第 8 次中期経営計画

2022 年度～ 2026 年度で、売上高 500 億円、営業利益 25 億円を定量目標として定める。



CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

4

2022 年 11 月期 2Q 業績

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　ハイライト

- 半導体不足による自動車メーカー減産、原材料の高騰、海外運送の遅れ、運送費の高騰の影響が継続
- メディカルウェア・作業服、スポーツ関連が好調、カジュアルウェア関連も回復の傾向にあり、アパレル関連事業が伸長
- 運送費などの経費見直しを継続
- 2Q 累計の売上高・営業利益・経常利益が、半期開示開始以来最高
- 2022 年度通期計画を上方修正し、期末配当を2円増配

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　通期業績サマリー

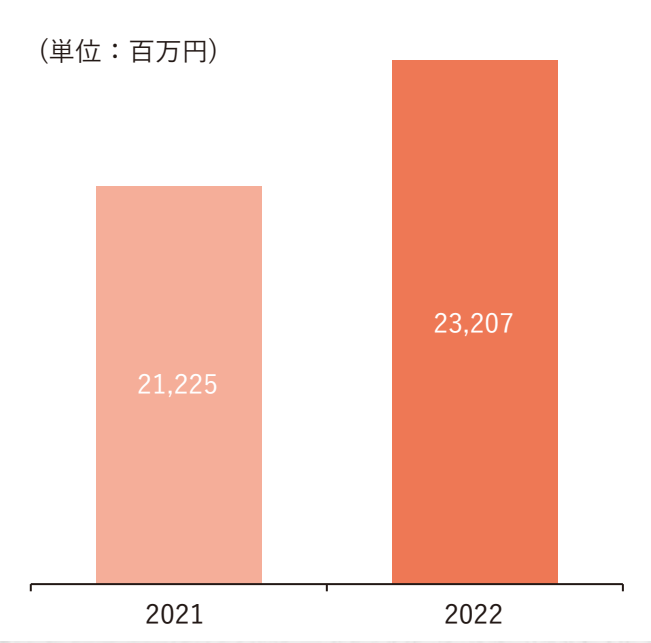
（単位：百万円）

	前 期	当 期	増 減	前 期 比
売上高	21,225	23,207	+1,982	+9.3%
売上総利益	5,491	6,113	+622	+11.3%
売上総利益率	*25.9%*	*26.3%*		
経費	4,715	4,995	+280	+5.9%
経費率	22.2%	21.5%		
営業利益	775	1,117	+342	+44.1%
営業利益率	3.7%	4.8%		
経常利益	885	1,219	+334	+37.8%
経常利益率	4.2%	5.3%		
当期純利益	533	879	+346	+64.9%
当期純利益率	2.5%	3.8%		

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　売上高

売上高：23,207 百万円　　前年同期比：+1,982 百万円（+9.3%）
半導体不足により輸送関連事業は影響を受けつつも、国内外でアパレル関連事業を中心に伸長。



日　本　　16,108 百万円
前年同期比 +1,470 百万円（+10.0%）

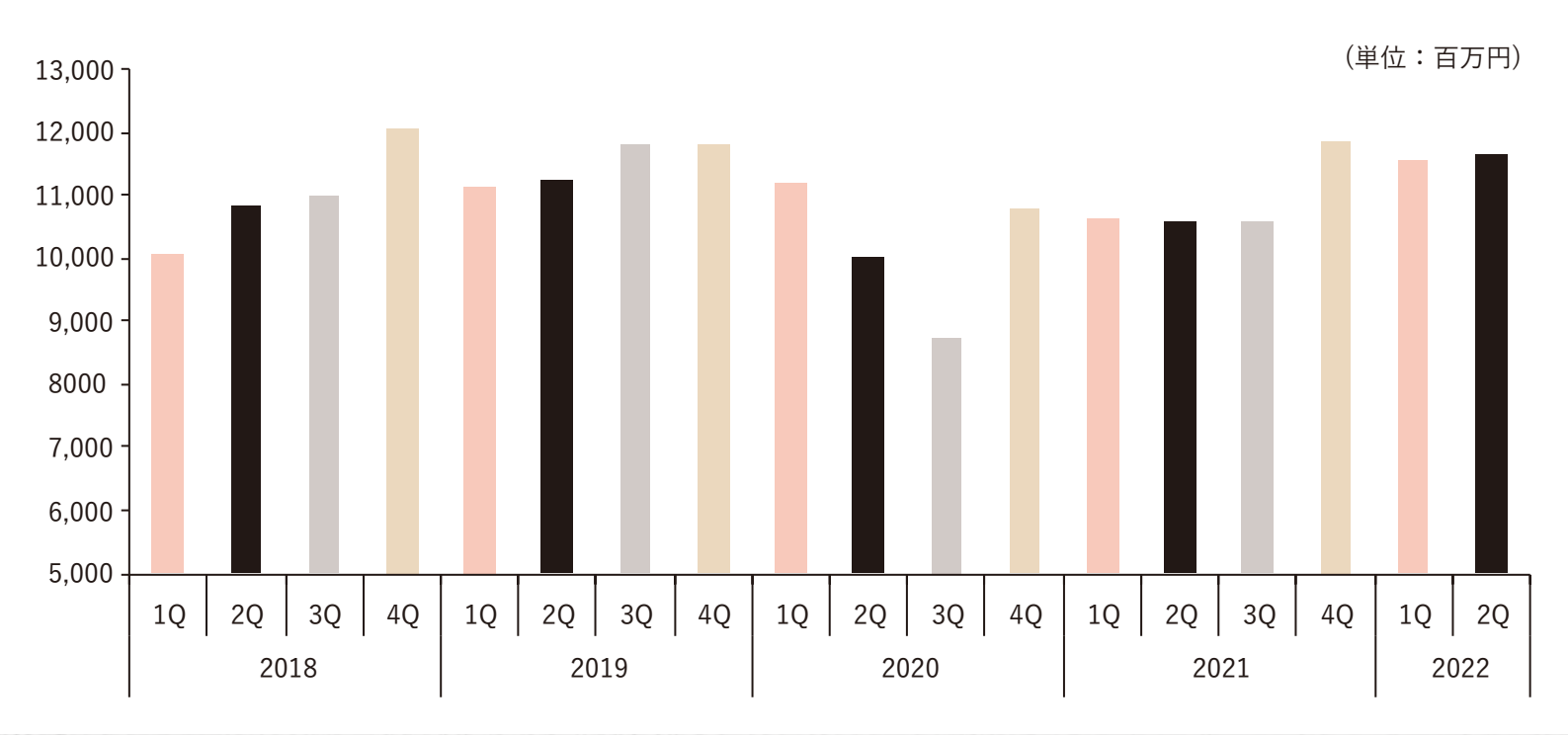
アジア　　4,097 百万円
前年同期比 +18 百万円（+0.4%）

欧　米　　3,000 百万円
前年同期比 +493 百万円（+19.7%）

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　四半期別売上高の推移

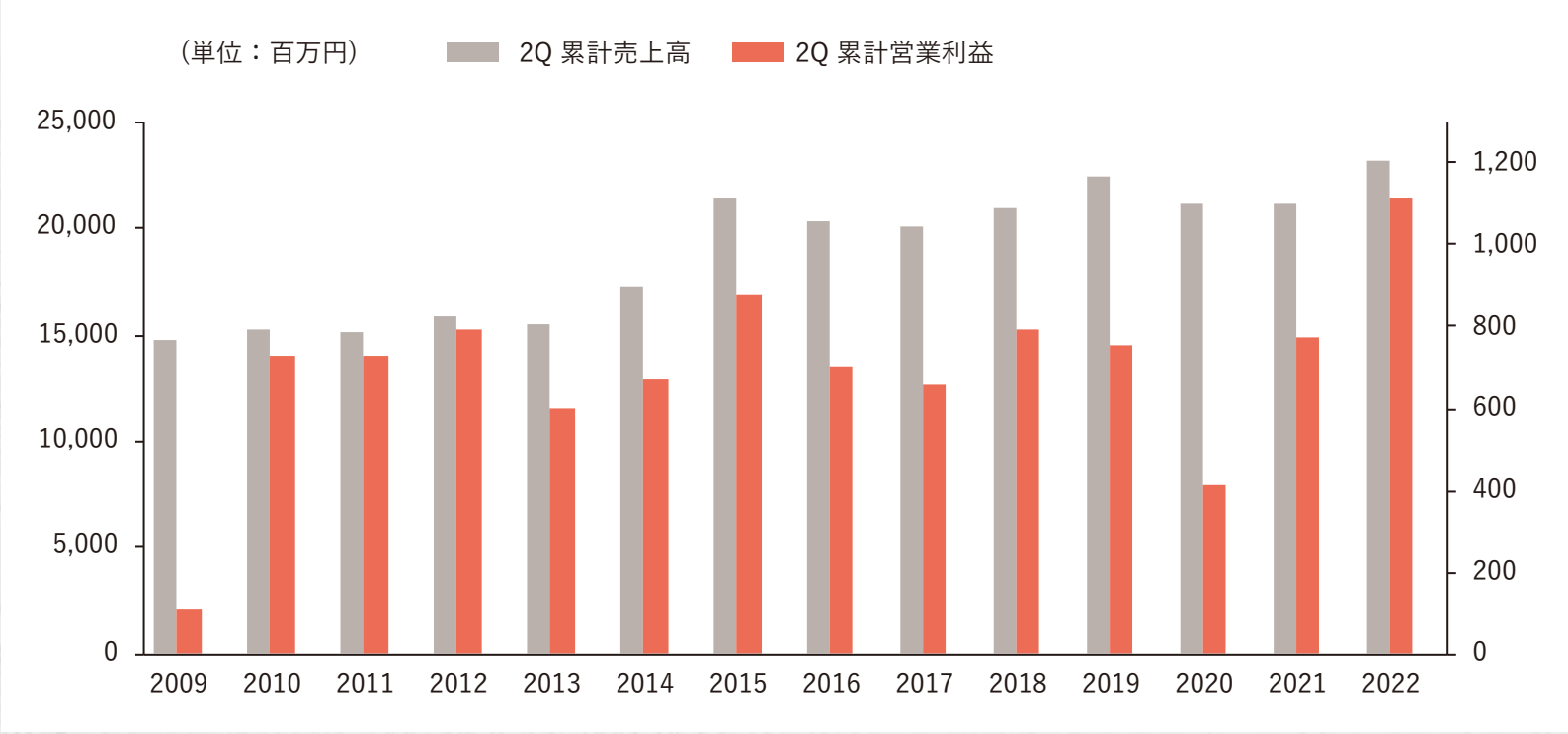
2Q の実績としても、新型コロナウイルス流行前の 2019 年を上回る。



© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　第 2 四半期売上高・営業利益の推移

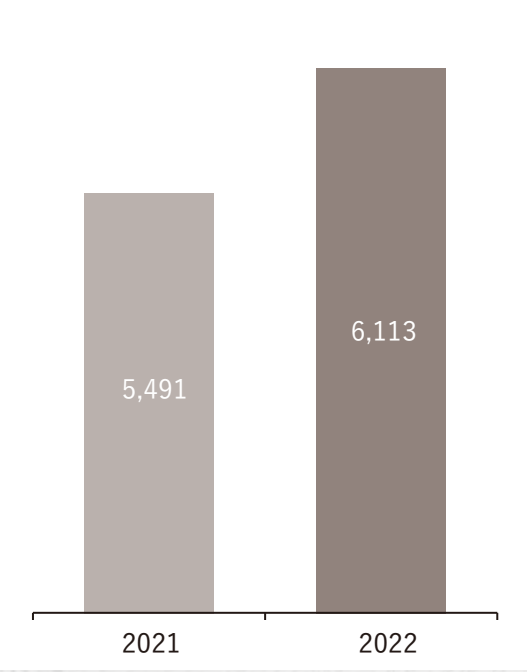
2Q 累計実績としては、2022 年 2Q の売上高・営業利益が半期開示開始以来最高を記録。



© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　売上総利益

売上総利益：6,113 百万円　　前年同期比：+622 百万円（+11.3%）
売上高増加・利益率改善により増加



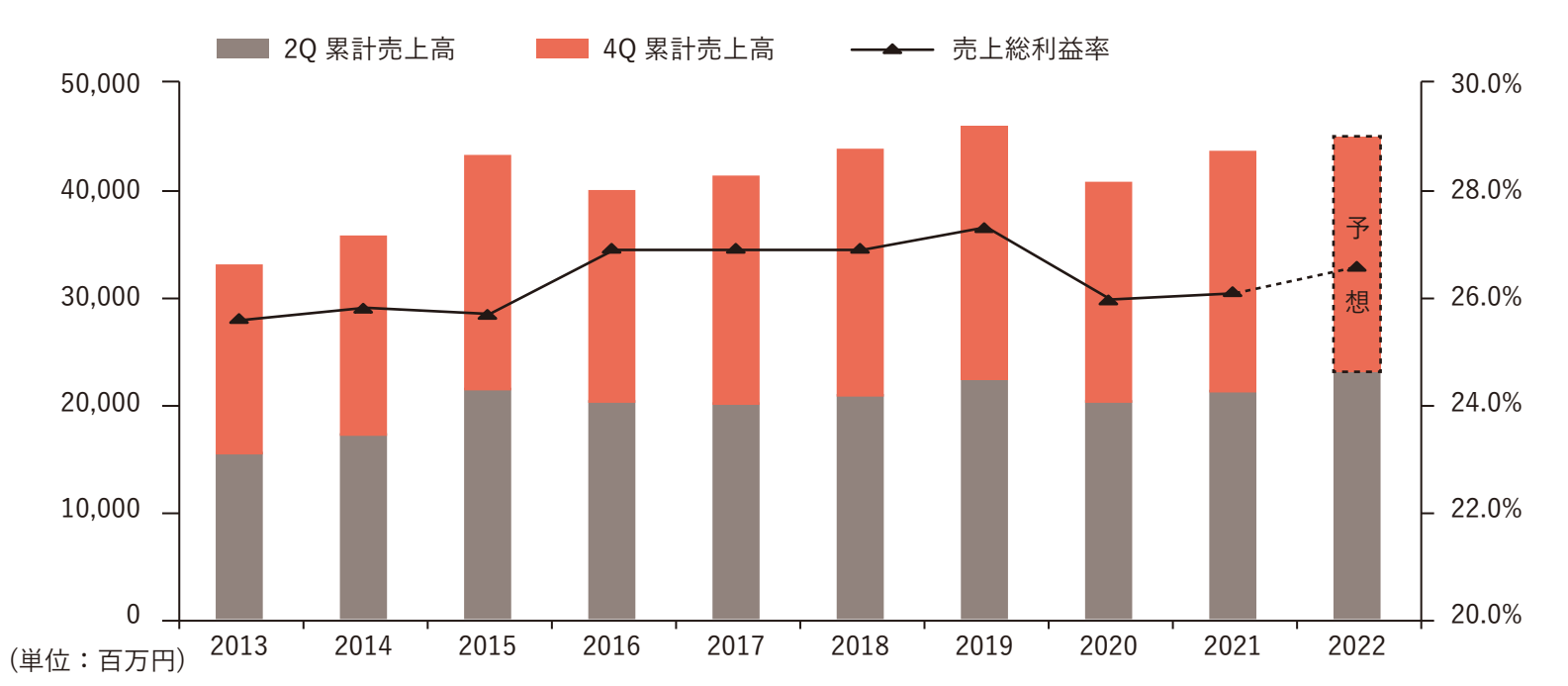
（単位：百万円）

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	21,225	23,207	+1,982	+9.3%
売上総利益	5,491	6,113	+622	+11.3%
売上総利益率	25.9%	26.3%		
経 費	4,715	4,995	+280	+5.9%
営業利益	775	1,117	+342	+44.1%
経常利益	885	1,219	+334	+37.8%
当期純利益	533	879	+346	+64.9%

© 2022 MORITO CO.,LTD.

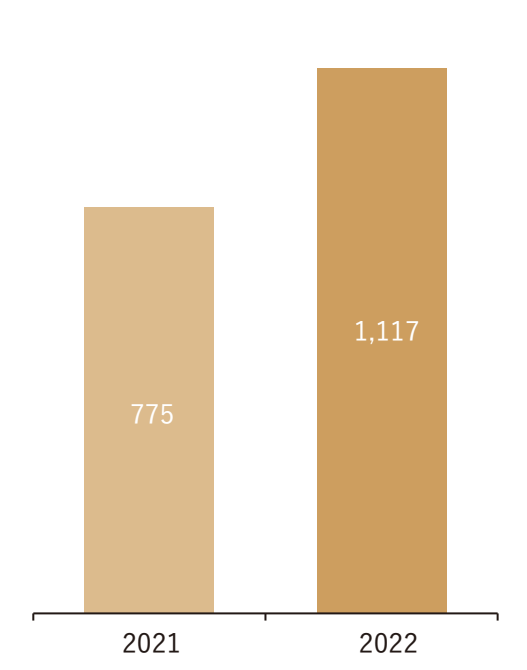
2022 年 11 月期 2Q　第 2 四半期売上高・売上総利益率の推移

2021 年 2Q をピークに原材料価格高騰の影響を受けたものの、価格転嫁などにより、一定の売上総利益率を維持。原材料価格・輸送コストの更なる高騰は懸念材料。



2022 年 11 月期 2Q　営業利益

営業利益：1,117 百万円　　前年同期比：+342 百万円（+44.1%）
売上総利益増加、経費率の改善



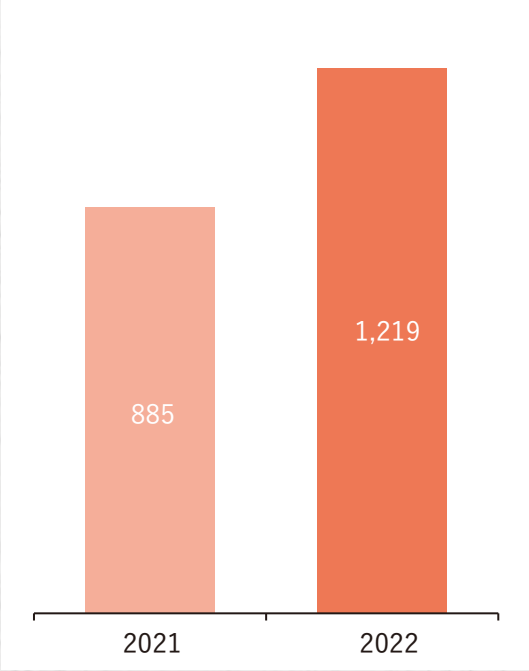
（単位：百万円）

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	21,225	23,207	+1,982	+9.3%
売上総利益	5,491	6,113	+622	+11.3%
売上総利益率	25.9%	26.3%		
経 費	4,715	4,995	+280	+5.9%
経 費 率	22.2%	21.5%		
営業利益	775	1,117	+342	+44.1%
営業総利益率	3.7%	4.8%		
経常利益	885	1,219	+334	+37.8%
当期純利益	533	879	+346	+64.9%

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　経常利益

経常利益：1,219 百万円　　前年同期比：+334 百万円（+37.8%）
営業利益の増加



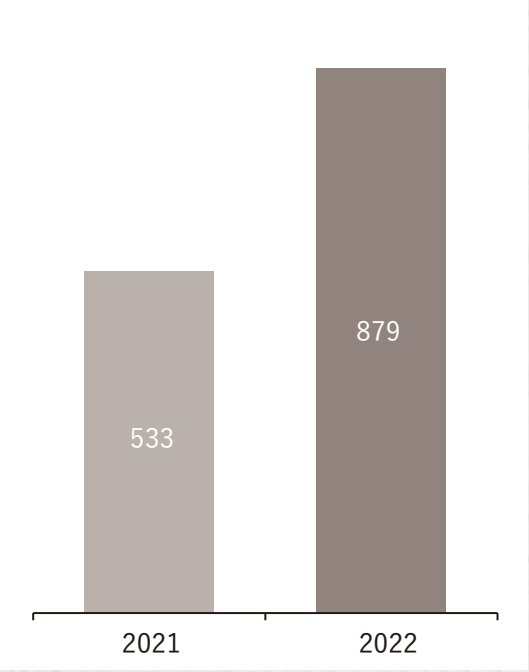
（単位：百万円）

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	21,225	23,207	+1,982	+9.3%
売上総利益	5,491	6,113	+622	+11.3%
経 費	4,715	4,995	+280	+5.9%
営業利益	775	1,117	+342	+44.1%
営業利益率	3.7%	4.8%		
経常利益	885	1,219	+334	+37.8%
経常利益率	4.2%	5.3%		
当期純利益	533	879	+346	+64.9%
当期純利益率	2.5%	3.8%		

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　当期純利益

当期純利益：879 百万円　前年同期比：+346 百万円（+64.9%）
経常利益の増加



（単位：百万円）

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	21,225	23,207	+1,982	+9.3%
売上総利益	5,491	6,113	+622	+11.3%
経 費	4,715	4,995	+280	+5.9%
営業利益	775	1,117	+342	+44.1%
経常利益	885	1,219	+334	+37.8%
経常利益率	4.2%	5.3%		
当期純利益	533	879	+346	+64.9%
当期純利益率	2.5%	3.8%		

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2021 4Q	2022 2Q
資産の部		
流動資産	26,957	27,619 (662)
固定資産	18,980	19,144 (164)
資産合計	45,938	46,764 (826)

	2021 4Q	2022 2Q
負債の部		
流動負債	7,507	7,835 (328)
固定負債	4,515	4,276 (▲ 239)
負債合計	12,023	12,111 (88)
純資産の部		
株主資本	31,477	31,525 (48)
その他の包括利益累計額	2,381	3,070 (689)
純資産合計	33,914	34,652 (738)
負債純資産合計	45,938	46,764 (826)

自己資本比率 74.0%（2021年 73.7%）

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

	2021 2Q	2022 2Q
現金及び現金同等物期首残高	10,052	11,020
営業活動によるキャッシュフロー	1,489	161
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 738	▲ 204
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 696	▲ 1,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	108	215
現金及び現金同等物の増減額	162	▲ 1,015
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	-
現金及び現金同等物期末残高	10,214	10,005

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

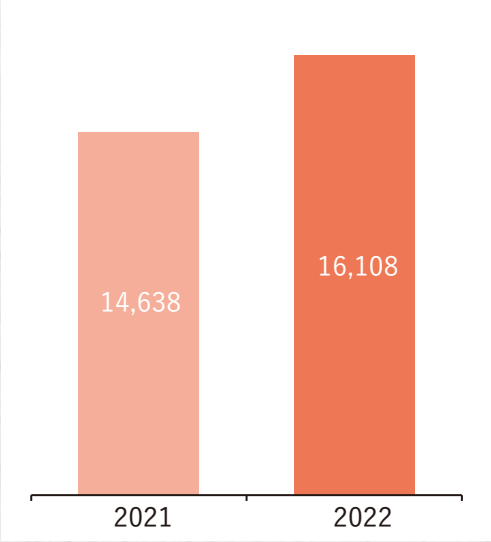
5

2022 年 11 月期 2Q 事業の概況

2022 年 11 月期 2Q　地域別売上高（地域別詳細）

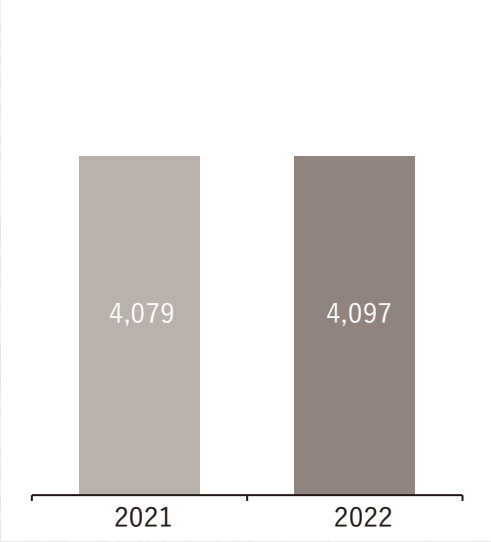
（単位：百万円）

日　本



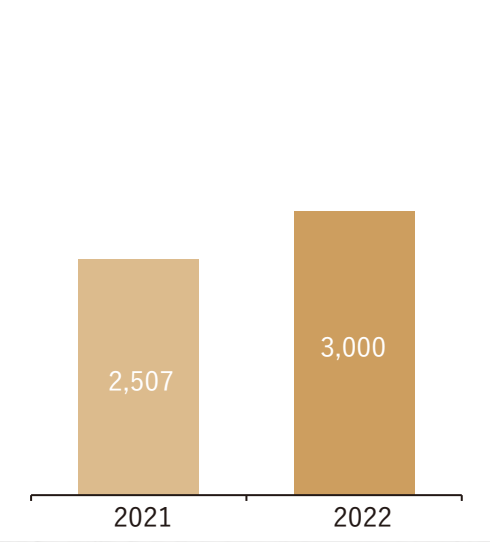
前年同期比　+1,470百万円
（+10.0%）

アジア



前年同期比　＋18百万円
（＋0.4%）

欧　米



前年同期比　+493百万円
（+19.7%）

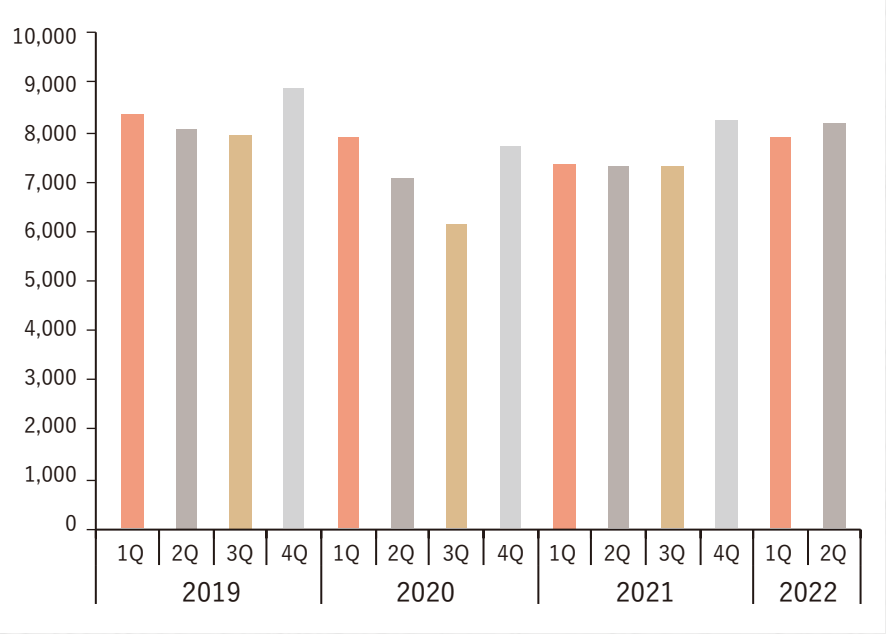
© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　地域別売上高（日本）

半導体不足の影響が継続している一方、アパレル関連事業が回復傾向。
医療機器関連、均一価格小売店向け商品などで新規獲得あり。

- 欧米向けの作業服・メディカルウェア向け付属品が増加
- カジュアルウェア向け付属品が増加
- スポーツウェア向け付属品が増加
- 医療機器関連商品が増加
- 均一価格小売店向け商品が増加
- 建築現場向け安全関連商品が増加
- スノーボード・サーフィン関連商品が増加
- 自動車内装部品が増加

（単位：百万円）



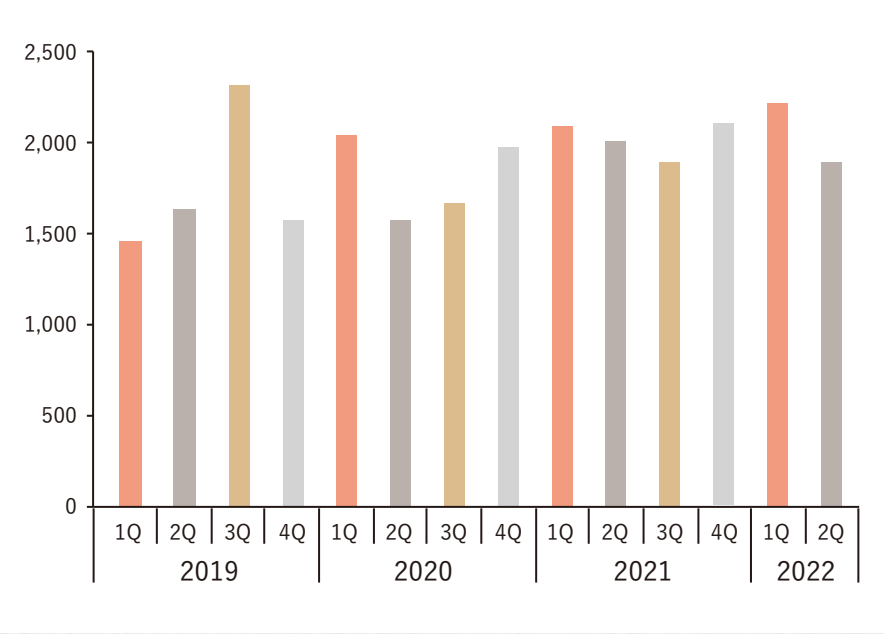
© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　地域別売上高（アジア）

中国・香港におけるアパレル関連事業が引き続き好調。
輸送関連事業はメーカー工場間の生産移管に伴う調整により減少。

- 中国での日系自動車メーカー向け自動車内装部品が減少
- 中国・香港での欧米向け作業服関連付属品が増加
- ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品が増加

（単位：百万円）



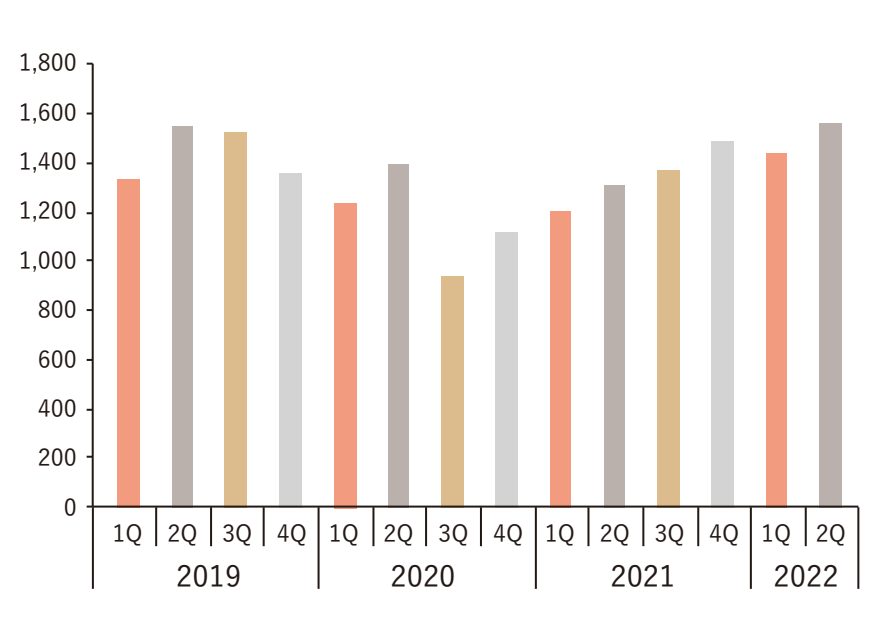
© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　地域別売上高（欧米）

作業服・カジュアルウェアなどを中心にアパレル関連事業が堅調に推移。
輸送関連事業においては、半導体不足の影響は継続中。

- 作業服向け付属品が増加
- カジュアルウェア向け付属品が増加
- 高級ダウンウェア向け付属品が増加
- 日系自動車メーカー向け自動車内装部品が減少

（単位：百万円）



© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　地域別売上高（四半期別）

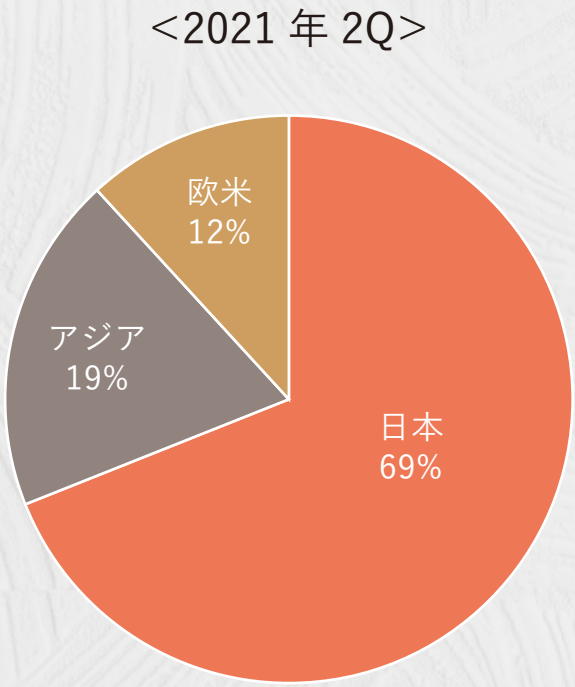
（単位：百万円）

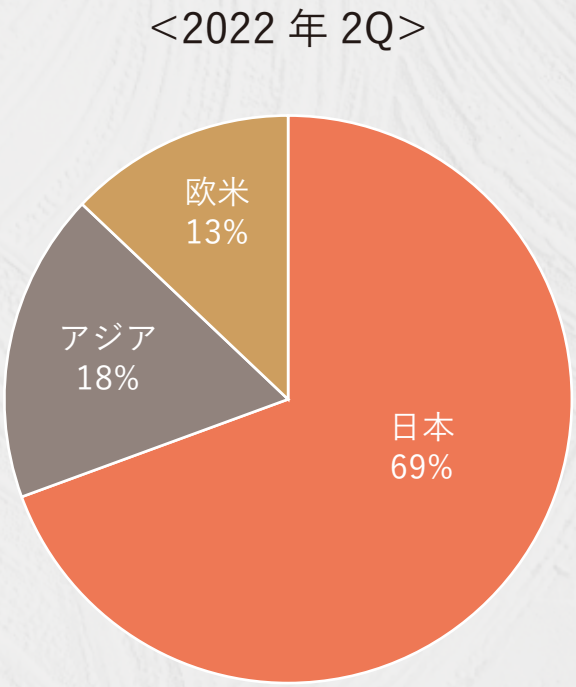
2022年度　実績						
	1Q	2Q	上期合計	構成比	前期比差額	前期比
日本	7,912	8,196	16,108	69.4%	+1,470	+10.0%
アジア	2,212	1,885	4,097	17.7%	+18	+0.4%
欧米	1,436	1,564	3,000	12.9%	+493	+19.7%
合計	11,561	11,646	23,207	100.0%	+1,982	+9.3%

2021年度　実績									
	1Q	2Q	上期合計	3Q	4Q	通期	構成比	前期比差額	前期比
日本	7,347	7,291	14,638	7,329	8,262	30,229	69.3%	+1,419	+4.9%
アジア	2,083	1,996	4,079	1,884	2,091	8,054	18.5%	+829	+11.5%
欧米	1,198	1,309	2,507	1,364	1,482	5,353	12.3%	+662	+14.1%
合計	10,629	10,596	21,225	10,577	11,834	43,636	100.0%	+2,909	+7.1%

© 2022 MORITO CO.,LTD.

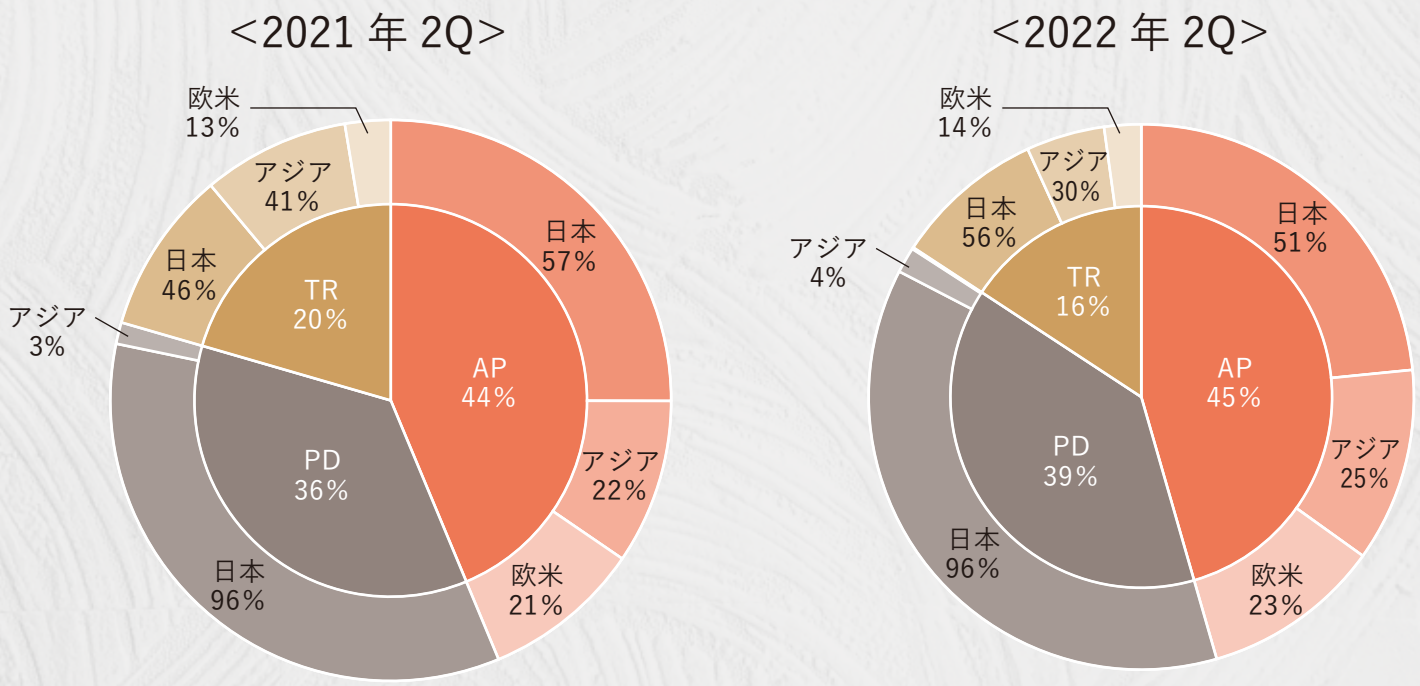
2022 年 11 月期 2Q　地域別　売上構成





© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　地域別 × 事業別　売上構成



AP：アパレル　PD：プロダクト　TR:輸送

通期計画の見直しについて

欧米・国内での経済活動持ち直し、流行に左右されないビジネスや
高付加価値商品の売上増加、継続的なコスト改善により、
2022 年 11 月期連結業績予想の修正を行いました。（2022 年7月 14 日付 ）

	2022年11月期 期首予想	2022年11月期 修正予想	増　減	増 減 率
売上高	45,000	46,000	+1,000	2.2%
営業利益	1,800	2,000	+200	11.1%
営業利益率	4.0%	4.3%		
経常利益	1,850	2,100	+250	13.5%
経常利益率	4.1%	4.6%		
当期純利益	1,450	1,550	+100	6.9%
当期純利益率	3.2%	3.4%		

© 2022 MORITO CO.,LTD.

2022 年 11 月期 2Q　計画進捗について

	2022年11月期 2Q実績	2022年11月期 業績予想	進捗度
売上高	23,207	46,000	50.5%
営業利益 営業利益率	1,117 4.8%	2,000 3.6%	55.9%
経常利益 経常利益率	1,219 5.3%	2,100 4.0%	58.0%
当期純利益 当期純利益率	879 3.8%	1,550 2.4%	56.7%

	2021年11月期 2Q実績	2021年11月期 通期実績	進捗度
売上高	21,225	43,636	48.6%
営業利益 営業利益率	775 3.7%	1,619 3.7%	47.9%
経常利益 経常利益率	885 4.2%	1,834 4.2%	48.3%
当期純利益 当期純利益率	533 2.5%	1,407 3.2%	37.9%

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

6

事業のトピックス

© 2022 MORITO CO.,LTD.

環境配慮型の商品開発等の取り組み

2021 年より廃漁網からリサイクルされた素材を使用した資材を展開し、
採用・引合いも増加し、売上規模も拡大中。新商品開発にも注力。

豊岡鞄 ® のスクールリュック
「UMI」に生地が採用。

※商品の詳細はこちら

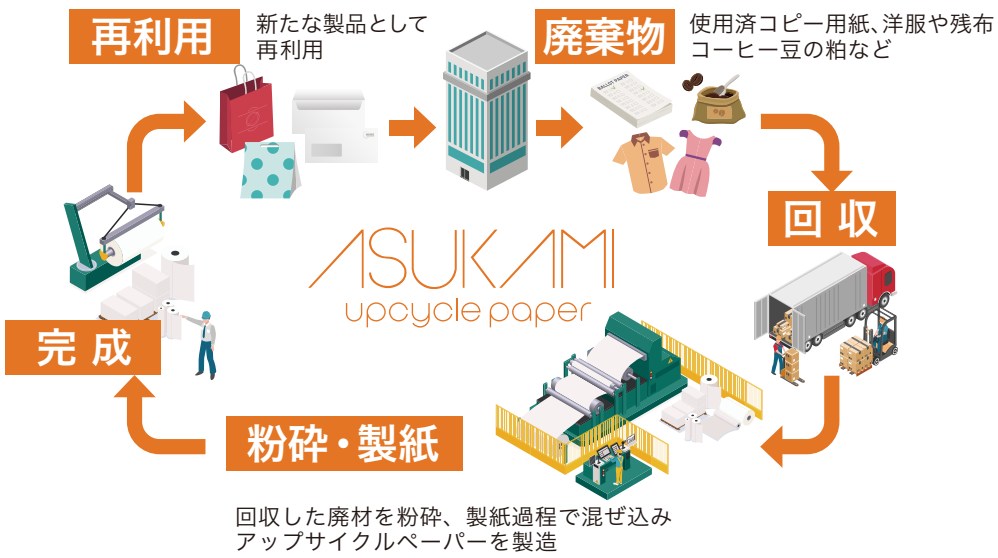
コクヨ株式会社より発売されるペンケース
「ネオクリッツ<From Fishing Nets Recycling>」に生地が採用。

※商品の詳細はこちら

© 2022 MORITO CO.,LTD.

環境配慮型の商品開発等の取り組み

グループ会社マテックスにて、アパレル関係の取引先で生産時に発生するはぎれ・残布を原料とした混抄紙「ASUKAMI」を取扱い開始。
「ASUKAMI」を使用し、紙袋や下札など新たな製品へアップサイクルが可能。



化学繊維を含む残布などから
アパレル商品等に使われる
下札や紙袋へ

モリト × スポーツの取り組み

会社認知度を高め、未来につなげる活動として、様々なスポーツとの取り組みを実施。

ネパールにスケートパークを作って子供たちに笑顔と夢を与えたい！YouTube チャンネル「MDAskater」を運営する岩澤史文さんのプロジェクトを支援。

東京ヴェルディ女子ホッケーチームとコーポレートパートナー契約を締結。環境配慮型商品を使ったフィールドホッケーのアイテムを自社ブランドで開発予定。

CHIBA LOTTE MARINES　MORITO

モリトは千葉ロッテマリーンズのオフィシャルスポンサーです。

2022 年 7 月 1 日より、千葉ロッテマリーンズのオフィシャルスポンサーとなり、本拠地 ZOZO マリンスタジアム 1 塁側・3 塁側ベンチに広告を掲出。

© 2022 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1
2
3
4
5
6
7

7

株主還元策

利益配分に関する基本方針

継続的配当の実現

業績状況等により
親会社株主に帰属する
当期純利益に対する
配当性向は50%以上を基準※

連結自己資本配当率
DOE1.5%を維持

※ 特別な損益等の特殊要因により税引き後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定いたします。

© 2022 MORITO CO.,LTD.

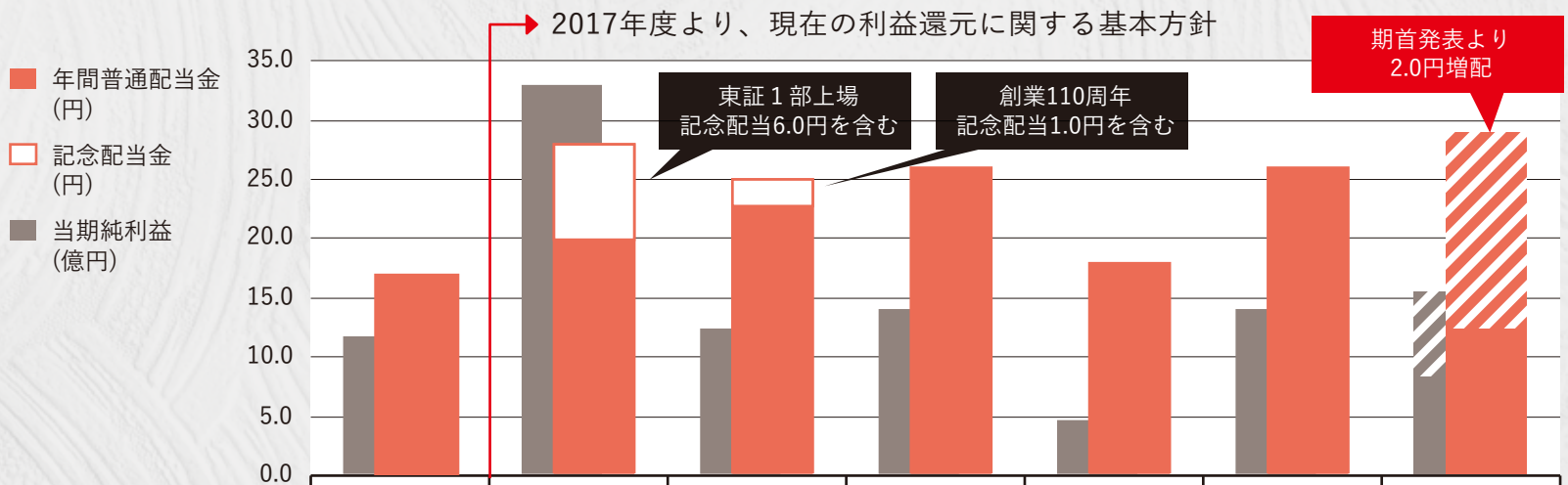
期末配当予想の修正

連結業績予想の修正に伴い、利益配分に関する基本方針の範囲内で、
期末配当予想を修正したしました。（2022 年 7 月 14 日付 ）
これにより、当期の年間配当金は当初の予想から 2 円増配の 29 円、
配当性向は 50.6%、DOE は 2.27% となる予定です。

	第2四半期末 (5月末)	期末 (11月末)	合 計	増 減 額
2021年11月期 (実績)	円銭 9.00	円銭 17.00	円銭 26.00	円銭 -
2022年11月期	円銭 13.50	円銭 15.50(予想)	円銭 29.00	円銭 ＋ 3.00

© 2022 MORITO CO.,LTD.

配当金・配当性向・DOE の推移



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022(予想)
当期純利益(億円)	11.8	33.0	12.5	14.0	4.7	14.0	15.5
年間配当(円/株)	17.0	28.0	25.0	26.0	18.0	26.0	29.0
中間配当(円/株)	8.0	14.0	12.5	13.0	13.25	9.0	13.5
期末配当(円/株)	9.0	14.0	12.5	13.0	4.75	17.0	15.5
配当性向(%)	41.0	※ 23.5	54.7	50.8	104.8	50.6	50.6
DOE(%)	1.7	2.4	2.1	2.2	1.5	2.2	2.3

※ 2017 年 11 月期の配当性向に関して、表中では 23.5% となっておりますが、記念配当を除いた普通配当 22 円と特別な損益等を除いた親会社株主に帰属する当期純利益を基準とすると配当性向は 50% 以上となります。

© 2022 MORITO CO.,LTD.

本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社　社長室

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-4
TEL：06-6252-3559 ／ FAX：06-6252-3483
E-mail：ir@morito.co.jp